

1. 開催経緯

- ・平成26年度 6月11日設立（第1回開催）、3回開催
3月18日 跨道橋連絡部会設立
- ・平成27年度 3回開催
- ・平成28年度 2回開催
2月7日 道路鉄道連絡部会設立
- ・平成29年度 3回開催
- ・平成30年度 3回開催

2. 技術力向上・点検促進の取り組み

- 道路構造物管理実務者研修（橋梁、トンネル）
 - ・点検、修繕に必要な知識技能技術の取得
 - ・地方公共団体、国等管理者を対象
 - ・参加しやすいよう、東部、西部2箇所で開催
 - ・H26～30年度の5ヵ年 351名参加 うち、地方公共団体239名（北陸3県）
- 新潟県道路メンテナンス会議での研修会・講習会等（→別紙参照）
 - ・補修工事の工事見学会（国交省・地方公共団体職員、学生対象）
 - ・橋梁点検の現地講習会（国交省・地方公共団体職員、学生対象）
 - ・橋梁点検の現地説明会（報道関係者対象）
 - ・新技術活用現地意見交換会（国交省・地方公共団体職員対象）
 - ・各種イベントにあわせた広報パネル展の実施 など

新潟県道路メンテナンス会議の取組み

3. 地域一括発注

- ・市町村の人不足・技術力不足を補うために市町村が実施する点検・診断の発注業務を新潟県建設技術センターが一括して発注。
- ・平成26年度より実施。延べ69市町村で実施。

平成26年度	2市
平成27年度	17市町村
平成28年度	17市町村
平成29年度	17市町村
平成30年度	16市町村
延べ	69市町村

4. 直轄診断の実施

- ・地方公共団体における老朽化対策の支援策として、北陸で初めて、黒部市管理の音沢橋（L=110m）で直轄診断を実施。
- | | |
|---------|-----------------|
| 平成29年度 | 直轄診断 |
| 平成30年度～ | 修繕代行（富山河川国道事務所） |

5. 道路メンテナンス年報 北陸版の公表

- ・平成31年1月28日「道路メンテナンス年報 北陸版」を初めてとりまとめ公表

○点検結果から見えた新潟県の特徴（→別紙参照）

- ・全国と比べて判定区分Ⅲの割合が高い傾向。橋梁は鳥取県に次いで2番目、トンネルは全国で1番高く85%が判定区分Ⅲ。（～H29点検）
- ・判定区分Ⅲ・Ⅳのうち修繕や撤去などの措置を実施している割合は、地方公共団体管理施設で低い傾向。県政令市では21%、市町村16%。まだ措置が進んでいない状況。（H30.9末時点）

「道路の老朽化対策」の見学会、実習会等 取組紹介(一例)

道路施設の現況や老朽化対策の必要性、課題、メンテナンス時代に向けた取組みを広く紹介するため、地方公共団体職員、報道関係者を対象に工事見学会、点検実習会等を実施。



国道7号 朝日トンネル・スノーシェッド
補修工事見学会(H29.11.8)
(羽越河川国道事務所、村上市若手職員)

萬代橋の橋梁点検
報道関係者説明会(H29.10.5)

国道18号二俣橋の橋梁点検
現地講習会(H29.10.16)
(高田河川国道事務所、糸魚川市、妙高市職員)

「道路の老朽化対策」の見学会、実習会等 取組紹介(一例)

道路施設の現況や老朽化対策の必要性、課題、メンテナンス時代に向けた取組みを広く紹介するため、土木を学習している学生を対象に工事見学会、点検実習会等を実施。



長岡高専連続講座(座学)(H29.6)



長岡技科大現場見学会(H29.6)



塩沢商工点検実習(H29.6)

新潟県公共事業執行円滑化協議会道路維持部会について

【設立の目的】

○市町村職員の技術力向上及び老朽化対策の情報提供・共有を目的とする。

【部会の活動】

- 道路施設の老朽化対策に関する会議
- 小規模橋梁点検の現地講習会
- 道路施設の点検・補修に関する技術講習会

【対象】

○市町村の実務担当者

【活動実績】

H26年度	○老朽化対策に関する会議(2回) ○のり面点検現地講習会(18市町村 40名参加)
H27年度	○老朽化対策に関する会議(2回) ○小規模橋梁現地講習会(16市町村 45名参加)
H28年度	○老朽化対策に関する会議(2回) ○小規模橋梁点検現地講習会(15市町村 43名参加) ○橋梁に関する技術講習会(13市町村 23名参加)
H29年度	○老朽化対策に関する会議(2回) ○小規模橋梁点検現地講習会(17市町村 39名参加) ○橋梁・トンネルに関する技術講習会(21市町村 32名参加)
H30年度	○老朽化対策に関する会議(2回) ○小規模橋梁点検現地講習会(12市町村 29名参加) ○橋梁・のり面に関する技術講習会(17市町村 35名参加)

技術講習会



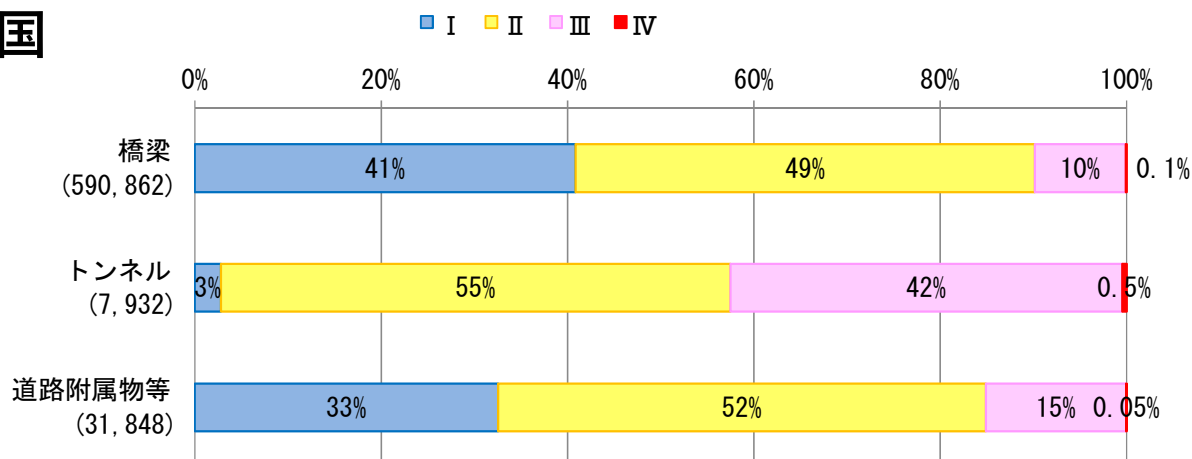
現地講習会



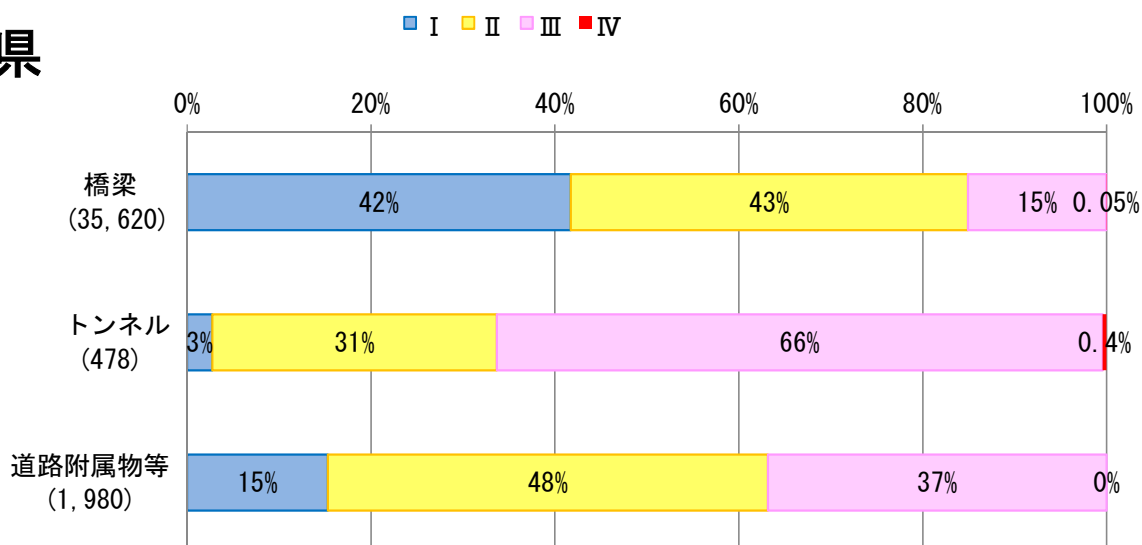
「道路メンテナンス年報北陸版」より抜粋

○橋梁・トンネル・道路附属物等の判定区分の割合（全道路管理者合計）

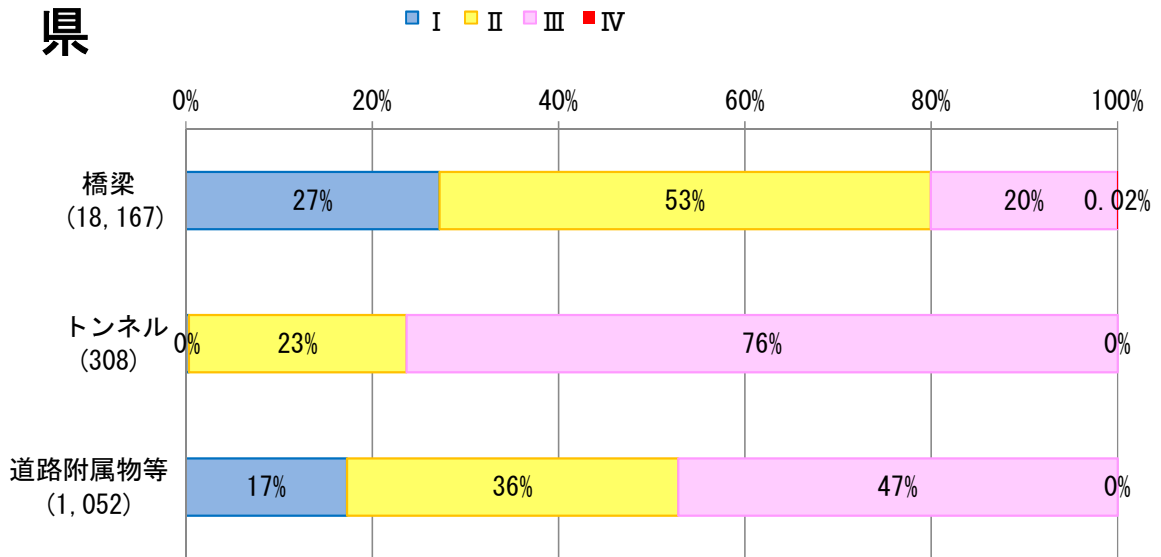
全 国



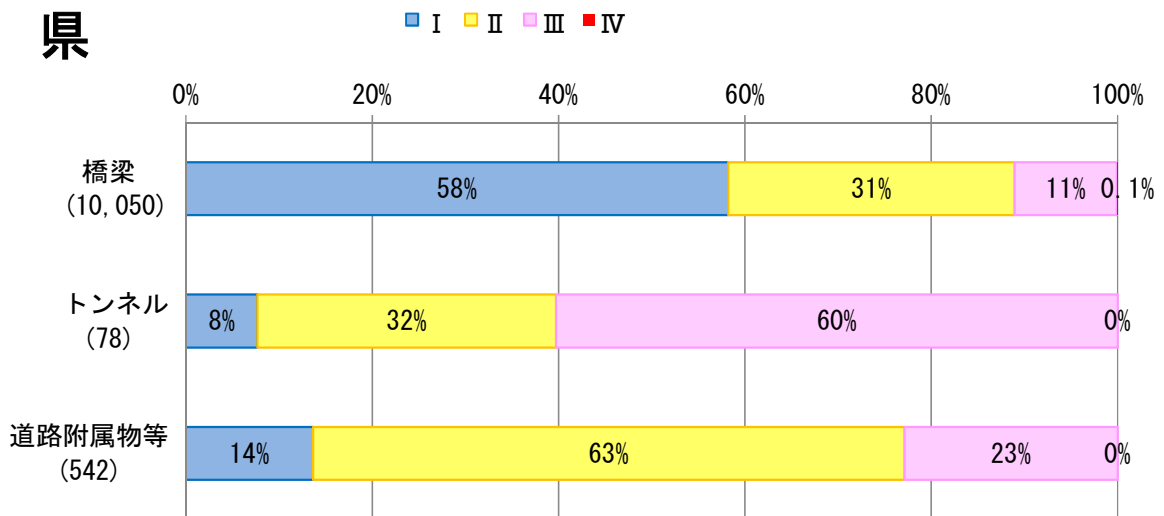
北陸3県



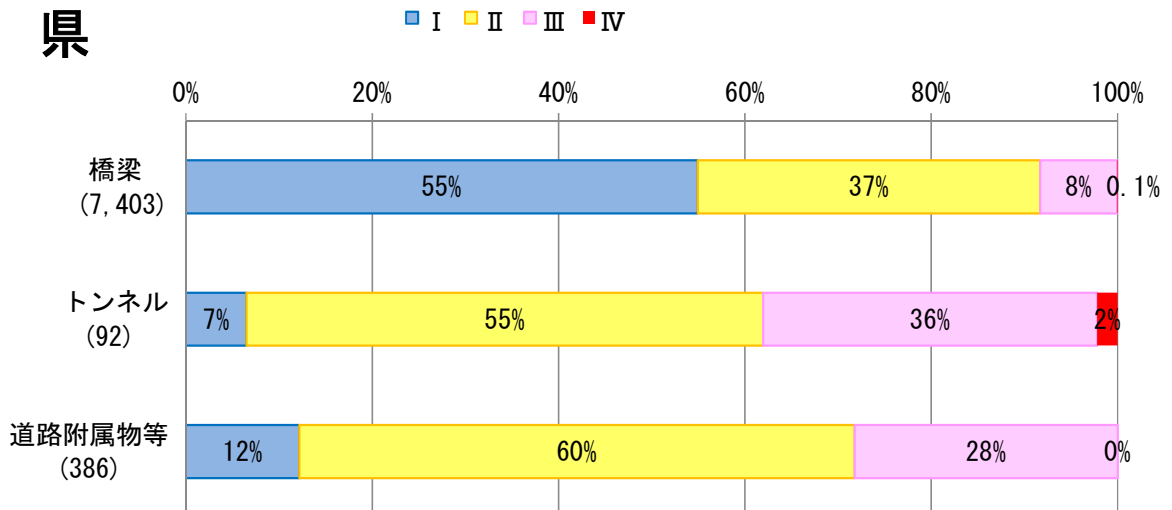
新潟県



富山県



石川県




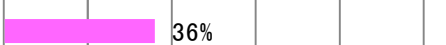
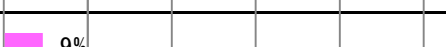
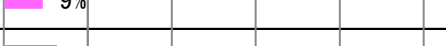
3. 修繕・措置の状況

(1) 判定区分Ⅱ、Ⅲ、Ⅳの施設の修繕実施状況（平成26～29年度点検施設）



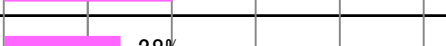
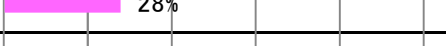
○管理者別の修繕（設計を含む）実施状況

①橋梁

1) 判定区分Ⅲ、Ⅳの施設の修繕着手状況

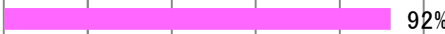

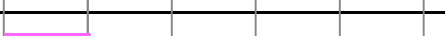

	点検実施年度	修繕が必要な施設数 (A)	修繕に着手済みの施設数 (B)	着手率 (B/A)					
				0%	20%	40%	60%	80%	100%
全国	国土交通省	1,997	1,233	 62%					
	高速道路会社	1,174	422	 36%					
	都道府県・政令市等	12,536	1,173	 9%					
	市町村	26,731	3,376	 13%					

※全国の数値は、平成30年3月末時点（平成26～28年度点検施設）

	点検実施年度	修繕が必要な施設数 (A)	修繕に着手済みの施設数 (B)	着手率 (B/A)					
				0%	20%	40%	60%	80%	100%
北陸3県	国土交通省	103	94	 91%					
	高速道路会社	139	56	 40%					
	都道府県・政令市等	2,316	644	 28%					
	市町村	2,806	404	 14%					


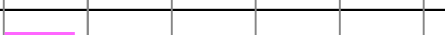
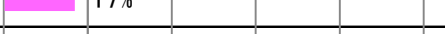

※平成30年9月末時点（平成26～29年度点検施設）

新潟県

	点検実施年度	修繕が必要な施設数 (A)	修繕に着手済みの施設数 (B)	着手率 (B/A)					
				0%	20%	40%	60%	80%	100%
国土交通省	H26～29	74	68	 92%					
高速道路会社		46	44	 96%					
都道府県・政令市等		1,653	343	 21%					
市町村		1,868	290	 16%					


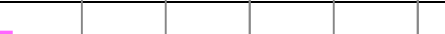
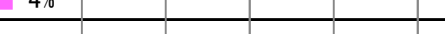

※平成30年9月末時点（平成26～29年度点検施設）

富山県

	点検実施年度	修繕が必要な施設数 (A)	修繕に着手済みの施設数 (B)	着手率 (B/A)					
				0%	20%	40%	60%	80%	100%
国土交通省	H26～29	14	14	 100%					
高速道路会社		65	11	 17%					
都道府県・政令市等		451	144	 32%					
市町村		579	83	 14%					

※平成30年9月末時点（平成26～29年度点検施設）

石川県

	点検実施年度	修繕が必要な施設数 (A)	修繕に着手済みの施設数 (B)	着手率 (B/A)					
				0%	20%	40%	60%	80%	100%
国土交通省	H26～29	15	12	 80%					
高速道路会社		28	1	 4%					
都道府県・政令市等		212	157	 74%					
市町村		359	114	 32%					

※平成30年9月末時点（平成26～29年度点検施設）